



# CAGLIERO 11

カリエロ



145 2021年1月

## サレジオ会宣教ニュース

サレジオ会宣教部門によるサレジオ会共同体・サレジオ・ミッションの友人のための通信



会員の皆さん、  
友人の皆さん、

2021年、  
明けまして  
おめでとうございます！

私たちはこの「新しい日常」に  
まだに苦勞しながら取り組んでい  
ますが、この新しい年を、「希望に  
つき動かされて」始めます。なぜな  
ら、主が万物を新しくされると私た  
ちは確信しているからです。大切な  
のは、信仰の目を持つことです。そ  
れによって私たちは、出来事を信仰  
の目で読み直すことができるので  
す。

また皆さんの手元には、サレジオ  
会共同体と教育司牧共同体メンバ  
ーのために宣教活性化の材料・資  
料として役立つようにするというた  
だ一つの目的で、フォーマットや内  
容を一新したカリエロ11がありま  
す。カリエロ11のこの「革新」によ  
って、このささやかでありながら重  
要な道具が、すべてのサレジオ会  
員の心に、そしてすべての教育司牧  
共同体のうちに、宣教の精神と熱  
意を生き生きと燃やし続けさせるも  
のとして、あらためて喜ばれるもの  
となりますように。

*Alfredo Maravilla*

宣教顧問

アルフレド・マラヴィジャ神父  
SDB

## 皆さんのために、皆さんと共に



カリエロ11はその誕生から12年目に入ります。私たちは宣教を意識するすべての人のために、このニュースレターを引き続き提供していきたいと願っています。そして今回の号からのいくつかの**変化とお知らせ**をお伝えできることをうれしく思います：

- 新しいモダンな**レイアウト**、より大きな画と新たな色使い。
- 興味深いコメントや考察、**良い実践例**を紹介する「フォーラム」。
- 3回の号ごとに**1つの大陸**に焦点を当てる。
- 教皇フランシスコの**祈りの意向**と特定の国のための祈りを結びます。
- 3か月おきに、写真のページ、**CaglieroPIX**が加わります。

この新しいフォーマットをもって、より**深く協力して下さるよう、皆さんを招きたい**と思  
います。カリエロ11がおもしろく魅力的なものになるために、皆さんの積極的な協力が必要で  
す。具体的にはどのような協力でしょうか。

- 宣教に関わる**ニュース**を、写真と一緒に私たちへ送ってください。
- 良い実践、アイデア、経験、あかしを**ご紹介ください**。
- 高解像度の**質の高い写真**（少なくとも2MB）を1、2枚送ってください。
- 宣教地、宣教師、ボランティア、恩人、そして若者のために**祈ってください**。

編集スタッフを紹介します。ローマのサレジオ会宣教部門で働く3人のサレジオ会司祭と若い協働者です：

- **アルフレッド**・マラヴィジャ神父（フィリピン）：宣教顧問
- **ジョージ**・メナムパランプル神父（インド）：宣教地への連帯支援担当
- **パヴェウ**・ゼニセク神父（チェコ）：宣教促進担当
- **マルコ**・フルガロ（イタリア）：宣教促進協働者

今後3か月（1-3月）、カリエロ11は、現在もサレジオ会が「プロジェクト・ヨーロッパ」に取り  
組む「**旧大陸**」に目を向けます。この間、主に用いられる色は**青**です。EUの旗の色、マリア様  
の色です。すべての宣教の動きを、**おとめマリア**の取りなしにゆだねます。



神の祝福を心から祈りつつ

カリエロ11の皆さんの友より

■ **パヴェウ、ジョージ、アルフ  
レッド、マルコ**（写真、左から）

[cagliero@sdb.org](mailto:cagliero@sdb.org)

追伸：  
周りにこのニュースレターを希望  
する方がおられれば、お知らせく  
ださい。

# フランスに派遣されたことは 祝福……



最もインスピレーションを与えられ勇気づけられる体験、原動力となるのは、「私への神のいつくしみと愛」です。ドン・ボスコのサレジオ会員であることの喜びがどれほど深いものであるか、私には決して説明しきれません。ヨーロッパで働くサレジオ会宣教師であるという恵み、賜物によって、私の内的な幸せは倍増します。私はフランスで働くことを、自分で選んだことも、願ったこともありませんでした。

どの宣教師にとってもそうであるように、初めはあらゆる困難を経験しなければなりません。神はかつて、今も、そしてこれからも、私と共にいてくださいます。FRB管区の兄弟会員に本当に愛されていると感じます。それ以上に望むことがあるのでしょうか？ フランスに来る以前も、メディアを通して若者に神の愛を伝えたいという望みを、私は常に兄弟会員と分かち合っていました。この夢がフランスという未知の国で形になるとは、思いもよらなかった。神の計画、導き方は、実にインスピレーションに満ちています。

ヨーロッパで働くためにほかの大陸から若いサレジオ会員が来ることの「フランスの価値」とは何でしょう？ サレジオの「プロジェクト・ヨーロッパ」の活力は続いていますか？

ヨーロッパで働くためにさまざまな大陸から来る会員を、「この会員のほとんどは高齢」だから会がその宣教師たちを送っているという目で見、理解するべきではありません。私たちは国際的な修道会であり、必要とされるどころへ宣教師を受け入れ、派遣するのです。それは私たちの会のDNAの一部なのです。

プロジェクト・ヨーロッパが今も意味のあるものかどうかという問いには、さまざまな大陸から来る若い宣教師と共に暮らす会員一人ひとりが応えるべきでしょう。

あなたは管区の宣教促進と広報の両部門で働いていますね。それは良いことだと思いますか？

この両部門にいて仕事によりやりやすく、問題も少なくなります。宣教促進にはいつも特別な思いを抱いてきました、私はサレジオ会員だからです。この火はいつまでも私の中にあるでしょう。ドン・ボスコは産業革命に立ち向かわなくてはなりませんでした。私たちは今日、デジタル革命、技術革命を前にしています。

新型コロナウイルスのため、このデジタル革命に光が当たり、その良い影響とネガティブな影響の両方を私たちは目にし、体験できています。今、世界中のサレジオ会員がドン・ボスコのように行動する時です、「若者がこの世で、そして次の世で幸いであるのを見る」というただ一つの目標に向かって。

■ ジョン・ポール・スワミナタン神父, SDB

[salesien.com](http://salesien.com) | [dbima.eu](http://dbima.eu) | [dbiem.org](http://dbiem.org)



ジョン・ポール・スワミナタン神父, SDB

\*1987年生まれ、南インド、タミール・ナドゥ出身  
サレジオ会INT(ティルチ)管区出身

2011年以来FRB管区所属 | 管区広報担当 | 管区宣教促進担当

フォーラム

## 連帯 COVID-19

サレジオ会による新型コロナウイルスへの対応の中心は次のものです：教育、司牧、霊的・宗教的な奉仕、このすべてが検疫隔離やロックダウンに対応した形で行われました。宣教部門は、世界レベルの連携において次の要請も受けました：

282のプロジェクトのための  
**約850万ユーロ**、  
そのうち、165のプロジェクトのために  
約650万ユーロの支援を行いました。

少なくとも625,000世帯の  
**1100万人**に  
物的支援を提供しました。

この支援は、最も疎外され忘れられた人々、望まれない、人間扱いされない人々に焦点を絞り、真の第一次福音宣教となりました。活動は英雄的な域に達し、新型コロナウイルスと闘う奉仕のなか、少なくとも2人のサレジアン殉教者を生み出しました。

■ MCジョージ・メナムパランピル神父, SDB  
[solidarity.covid19@sdb.org](mailto:solidarity.covid19@sdb.org)

1月  
サレジオ  
宣教の  
祈りの意向

## 人々の中の兄弟愛

フランスで、人々の中の兄弟愛とサレジオのアモレヴォレツァ - 愛情・慈愛 - の精神を育むことができますように。

「私たちがほかの宗教の兄弟姉妹と、満ち満ちた、すべての人に開かれた友情の絆を生き、互いのために祈る恵みを、主がくださいますように。」 | 教皇フランシスコの祈りの意向 |

ヨーロッパの  
ために

